



国立大学法人 千葉大学
National University Corporation
Chiba University

ニュースリリース

平成 21 年 10 月 20 日
千葉大学企画総務部総務課

千葉大学創立 60 周年記念事業の実施について

千葉大学は、昭和 24 年に新制国立大学として発足して以来、本年をもって創立 60 周年を迎えることになりました。

この記念すべき年にあたり、千葉大学の創立記念日である 11 月 5 日に実施する「千葉大学創立 60 周年記念シンポジウム」の開催をはじめ、各種記念事業を別紙のとおり実施することとなりましたので、ご案内申し上げます。

【本件に関する問い合わせ先】

記念展示：	附属図書館情報サービス課企画グループ TEL：043-290-2262 企画総務部総務課 TEL：043-290-2009,2010
国際シンポジウム：	学術国際部国際企画課 TEL：043-290-2044
公開市民講座：	学生部教務課総務担当グループ TEL：043-290-3618

千葉大学創立60周年記念事業について

◆記念展示

◇大学の歩みと、活躍する卒業生たち

会場：附属図書館展示ホール（本館1階）

期間：10月27日（火）～11月30日（月） **入場無料**

時間：平日：9:00～21:45、土・日・祝日：10:30～17:00

（ただし、10/29（木）～11/2（月）は、図書館は休館となりますが、展示は10:30～17:00までご覧いただけます。）

内容：・前史も含めた年表を中心に各時代の学長、トピックなど千葉大学の歴史を紹介

・千葉大学にゆかりの「人物」にスポットをあて、著名関係者の業績を紹介

紹介者：海堂 尊（作家）、柳瀬 崇（アンパンマン・手のひらに太陽を等作者）など。

問い合わせ先：附属図書館情報サービス課企画グループ

Tel：043-290-2262

◇つねに、より高きものをめざして

会場：けやき会館エントランスホール（1階）

期間：10月27日（火）～11月7日（土） **入場無料**

時間：9:00～17:00

内容：・各部署の歴史や変遷及び現状等についてパネルにより紹介

・各部署における重点的取り組み、ニュース又はトピック等の紹介

問い合わせ先：企画総務部総務課総務グループ

Tel：043-290-2009/2010

◆能楽公演－日本文化の神髄を究める－（別途紹介）

◆国際シンポジウム

テーマ：次世代人材の育成－イノベーション創出・グローバル化促進の観点から－

期日：11月5日（木）13:00～

場所：けやき会館大ホール

日程：基調講演 鈴木厚人（高エネルギー加速器研究機構長）

招待講演 Pursula, Matti ヘルシンキ工科大学長

Gumilar Rusliwa Somantri インドネシア大学長

パネルディスカッション

使用言語：英語（日英同時通訳）

問い合わせ先：学術国際部国際企画課

Tel：043-290-2044

◆公開市民講座「千葉学のいま ー海と里山の歴史、これからのまちー」

「千葉学」講座では、房総半島の成り立ちと自然、そこで展開されてきた人々の暮らしと歴史、そしてこれからの地域づくりを考えます。

期日：11月14日（土）13:00～15:30 **入場無料 要申込み**

場所：けやき会館大ホール

日程：第1部 千葉大学の房総研究

- ・房総半島の成り立ちと将来：地球科学の視点から
宮内崇裕（千葉大学大学院理学研究科教授）
- ・ミツバツツジが語る房総・里山の社会生態学：緑地・環境科学の視点から
小林達明（千葉大学大学院園芸学研究科教授）
- ・房総の海の暮らしと民俗：民俗学の視点から
和田 健（千葉大学国際教育センター准教授）
- ・古代房総の海と人々の暮らし：考古学の視点から
岡本東三（千葉大学文学部教授）

第2部 千葉大学の地域連携実践

- ・山武市との連携と地域づくり

申込方法：ハガキ（封書）・FAX・Eメールで受付けております。

当日会場での受付でも可能です。

問い合わせ先：学生部教務課総務担当グループ（生涯教育）

TEL：043-290-3618 FAX：043-290-3606

E-mail：dak3618@office.chiba-u.jp

千葉大の過去・現在を知ろう、
そして未来を語ろう。

千葉大学 創立60周年記念展示

大学の歩みと、活躍する卒業生たち

<展示期間>

10月27日(火)～11月30日(月)

<展示時間>

平日/9:00～21:45

土・日・祝日/10:30～17:00

※ただし、10月29日(木)～11月2日(月)は、
図書館は休館となりますが、
展示は10:30～17:00までご覧いただけます。

入場無料

千葉大学大学祭
10月30日(金)～11月2日(月)



千葉大学附属図書館
<本館1階展示ホール>

<交通案内>

- JR総武線「西千葉」駅下車、徒歩8分
(JR総武線快速利用の場合は「稲毛」駅乗り換え)
- 京成千葉線「みどり台」駅下車、徒歩6分

<問い合わせ先>

附属図書館 情報サービス課 企画グループ
TEL.043-290-2262
<http://www.chiba-u.ac.jp/>

- 主催/千葉大学
- 会場/千葉大学附属図書館 <本館1階展示ホール>



60th
Chiba University

デザイン(左)「60」を柳屋大のカタチにして、
*実によく発着する意味を込めました。

千葉大学 創立60周年記念展示

— つねに、より高きものをめざして —

期間 10月27日(火)～11月7日(土)

時間：9:00～17:00

会場：けやき会館エントランスホール(1F)

千葉大学大学祭

10月30日(金)～11月2日(月)

東京方面

みどり台方面

けやき会館

西千葉駅

千葉方面



Chiba University

入場無料

〈交通案内〉

- JR総武線「西千葉」駅下車、徒歩8分
(JR総武線快速利用の場合は「稲毛」駅乗り換え)
- 京成千葉線「みどり台」駅下車、徒歩6分

〈問い合わせ先〉

企画総務部 総務課 総務グループ

TEL: 043 (290) 2009/2010

URL: <http://www.chiba-u.ac.jp/topics/2009/60th/tenji.pdf>

■主催/千葉大学

■会場/千葉大学けやき会館エントランスホール(1階)

$$Pf(x) := \frac{(-1)^{n-1}}{(2\pi\sqrt{-1})^{n-1}} \int_{h(x)} \sum_{j=-n+1}^{\infty} (n+j-1)! \operatorname{Res} \frac{P_j(x, \xi) \omega(\xi)}{[\xi \cdot (x-w)]^{n+j}} \omega(\xi) \wedge dw$$

$$+ \frac{(-1)^{n-1}}{(2\pi\sqrt{-1})^{n-1}} \int_{h(x)} \sum_{j=-\infty}^{-n} \frac{1}{(-n-j)!} P_j(x, \xi) [\xi \cdot (x-w)]^{-n-j} f(w) \omega(\xi) \wedge dw$$

記念展示によせて

本学は、新制国立大学として誕生して今年で60年を迎えました。そこで学び、働いた方々はゆうに15万人は超えるでしょう。その歴史の重さを感じずにはおれません。

その間に、その人々によって繰り広げられた様々な大学模様、社会模様、そして人間模様には、今の我々が学ばなければならないこと、学びたいこと、伝え続けねばならないことなど、たくさんあると思います。

60年の歴史に刻まれた一端を展示していただき、それぞれの目で確かめていただき、あることを思い出し、知らなかったことに感動し、その足跡を見て考え、そしてその歴史を受け取っていただき、それぞれの方々の心の1ページになることを願っています。

これからも本学は、総合大学としての多様性と学際性を生かし、世界を先導する創造的な教育・研究活動を通しての社会貢献を使命とし、生命のいっそうの輝きを目指す未来志向大学として、たゆみない挑戦を続けます。



国立大学法人 千葉大学長 齋藤 康

展示テーマ

- 各部局の歴史や変遷及び現状等について紹介
- 各部局における重点的な取り組み、ニュース又はトピック等について紹介

【出展部局】

文学部、教育学部、法経学部、理学部、看護学部、工学部、園芸学部、人文社会科学研究科、融合科学研究科、医学部、薬学部、医学薬学府、専門法務研究科、医学部附属病院、環境リモートセンシング研究センター、真菌医学研究センター、分析センター、総合メディア基盤センター、先進科学センター、普遍教育センター、国際教育センター、言語教育センター、海洋バイオシステム研究センター、フロンティアメディカル工学研究開発センター、環境健康フィールド科学センター、産学連携・知的財産機構、ベンチャービジネスラボラトリー

大学概要

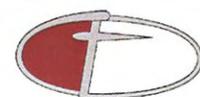
千葉大学は、昭和24年5月に当時千葉県内にあった千葉医科大学、同大学附属医学専門部及び薬学専門部、千葉師範学校、千葉青年師範学校、東京工業専門学校、千葉農業専門学校の各旧制国立諸学校を包括して、新制の国立総合大学として発足したものです。さらに、平成16年4月に国立大学法人千葉大学が設立され、千葉大学は同法人により運営されることとなりました。

新制国立大学として発足した当初の千葉大学は、5学部（学芸学部、医学部、薬学部、工芸学部、園芸学部）と1研究所（腐敗研究所）及び附属図書館からなっていましたが、昭和30年4月には大学院が設置され、その後も何度かの学部・研究科等の拡充改組を重ね、現在は、文学部、教育学部、法経学部、理学部、医学部、薬学部、看護学部、工学部、園芸学部の9学部、附属図書館、医学部附属病院、各センター等及び大学院に置かれる教育学研究科、理学研究科、看護学研究科、工学研究科、園芸学研究科、人文社会科学研究科、融合科学研究科、医学研究院、薬学研究院、医学薬学府、専門法務研究科により構成されるに至っています。

千葉大学の学部学生の入学定員は2,310名です。また、大学院研究科の入学定員は、博士課程272名、修士課程926名、専門職学位課程50名であり、総合大学としての規模、内容とも国立大学の上位にあります。

大学のキャンパスは、西千葉、亥鼻、松戸及び柏の葉の4地区に分かれています。西千葉地区はJR総武線西千葉駅前に位置する千葉市稲毛区弥生町の39万㎡に及びメインキャンパスであり、ここに大部分の学部その他の施設が集中しています。亥鼻地区は千葉市中央区亥鼻の台地に医学部、看護学部及び医学部附属病院等が置かれています。また松戸・柏の葉地区は松戸市及び柏市にあり、園芸学部と環境健康フィールド科学センター等が置かれています。

※本展示のほか、附属図書館1階展示コーナーにおいて、創立60周年記念展示「大学の歩みと活躍する卒業生たち」を紹介していますので、是非お立ち寄りください。



千葉大学
Chiba University

千葉大学創立60周年記念 国際シンポジウム

次世代人材の養成
——イノベーション創出、グローバル化促進の観点から——

日時：平成21年11月5日(木) 13:00～

場所：けやき会館

当日先着300名入場無料 同時通訳有り



13:00 開会

主催者挨拶 齋藤 康 千葉大学長
来賓挨拶 森田 健作 千葉県知事
千葉 滋胤 千葉県商工会議所連合会会長

13:20 基調講演

・鈴木 厚人 高エネルギー加速器研究機構長
招待講演
・Matti Pursula ヘルシンキ工科大学長(フィンランド)
・Gumilar Rusliwa Somanti インドネシア大学長(インドネシア)

16:10 パネルディスカッション

「千葉大学からの次世代人材の養成
——イノベーション創出、グローバル化促進の観点から——」
コーディネーター：野波 健蔵(千葉大学理事)

パネリスト：

- ・Andrew Wee(シンガポール国立大学)
- ・日沼 洋陽(カリフォルニア大学サンディエゴ校博士研究員・先進科学プログラム(飛び入学)第3期生)
- ・王 昌恩(中国国家自然科学基金委員会教授・海外校友会中国支部会長)
- ・山本 意司(千葉大学理事)
- ・上野 信雄(千葉大学融合科学研究科教授)
- ・高垣美智子(千葉大学園芸学研究科教授)
- ・中山 俊憲(千葉大学医学研究院教授)

17:40 閉会

主催：千葉大学 ■問い合わせ先：千葉大学学術国際部国際企画課(内線2044、電話043-290-2044)

千葉大学創立60周年記念公開市民講座

千葉学のいま

—海と里山の歴史、これからのまち—

みなさんは「千葉」というと何を連想されるでしょうか？
房総半島は周囲に海が広がり、緩やかな丘陵地帯と
里山が連なる豊かな自然に恵まれています。
今回の「千葉学」講座では、房総半島の成り立ちと自然、
そこで展開されてきた人々の暮らしと歴史、
そしてこれからの地域づくりを考えます。

<日時>

平成21年11月14日(土)

13時10分～15時30分

<場所>

千葉大学けやき会館 大ホール

千葉市稲毛区弥生町1番33号

第1部 千葉大学の房総研究

13:10～14:30

房総半島の成り立ちと将来

:地球科学の視点から

宮内 崇裕 (千葉大学大学院理学研究科教授)

ミツバツツジが語る房総・里山の社会生態学

:緑地・環境科学の視点から

小林 達明 (千葉大学大学院園芸学研究科教授)

房総の海の暮らしと民俗

:民俗学の視点から

和田 健 (千葉大学国際教育センター准教授)

古代房総の海と人々の暮らし

:考古学の視点から

岡本 東三 (千葉大学文学部教授)

第2部 千葉大学の地域連携実践

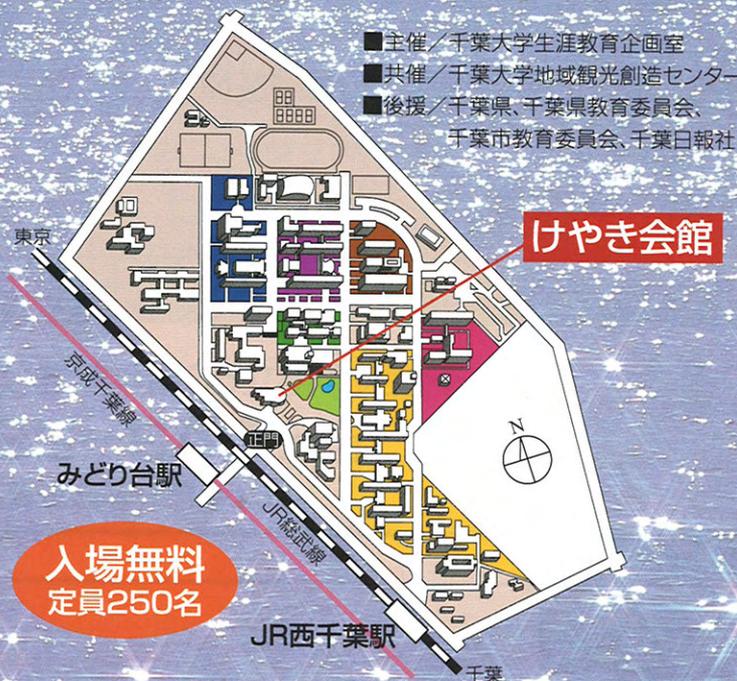
14:40～15:30

山武市との連携と地域づくり

千葉大学 大学院 工学研究科 北原理雄研究室

千葉大学工学部・園芸学部の教員が中心になって立ち上げた「共生環境デザインによる房総半島活性化支援」プロジェクトが、平成19年度の文部科学省「現代的教育ニース取組支援プログラム」に採択され、現在3年目の取り組みが進められています。ここでは、その一環として山武市と連携して行われた工学部都市環境システム学科の演習「まちの宝をつなぐ～山武まちづくり提案2009～」の成果を、学生自身の発表によって紹介します。

- 主催/千葉大学生涯教育企画室
- 共催/千葉大学地域観光創造センター
- 後援/千葉県、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉日报社



入場無料
定員250名

<お申込み方法>

- ★ハガキ(封書)・FAX・Eメールで受け付けます。
- ★FAXによるお申込みは、裏面の申込書をご利用ください。
- ★ハガキ(封書)、Eメールによるお申込みは、お名前(ふりがな)・住所・電話番号・メールアドレスをご記入の上、下記担当宛にお送りください。
- ★当日会場での受付も可能です。

<お申込み、お問い合わせ>

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号
千葉大学 学生部 教務課 総務担当グループ(生涯教育)
TEL.043-290-3618 FAX.043-290-3606
E-mail:dak3618@office.chiba-u.jp

千葉学ブックレット

●発行/千葉日報社
●編集/千葉大学房総研究会
●定価/800円

新刊



千葉の政治経済-1
『千葉の内なる国際化―地域と教育の現場から』
石戸 光/著

都市と自然環境-3
『里山が危ない―負の遺産・産廃―』
齋藤 雪彦/著

房総の自然-2
『房総半島の地学散歩―海から山へ(第二巻)』
宮内 崇裕・理学研究科地球科学コース/編著

近日刊行予定

千葉の教育と文化-3
『やってみよう、模擬裁判―中学校における法教育の実践』
戸田 善治/著

千葉の健康-2
『千葉の医療―ストレス緩和の新医療』
菅谷 茂/著

房総の歴史と文化-2
『房総の海の民俗』
和田 健/著

<好評発売中>

都市と農業-1
『手賀沼発 農業で沼の水を浄化する』
高垣 美智子・丸尾 達/著

都市と農業-2
『生物資源を活かしたまちづくり―
山武町バイオマスタウン構想からの発信―』
篠山 浩文/著

都市と自然環境-1
『ミツバツツジはささやく 房総・里山の社会生態学』
小林 達明・古賀 陽子/著

都市と自然環境-2
『千葉っ子を犯罪から守る』
中村 攻・近江 屋一朗/著

房総の歴史と文化-1
『房総の伝説を「鉄」で読む』
井上 孝夫/著

千葉の教育と文化-1
『千葉版―企業とつくる先端キャリア教育』
藤川 大祐/著

千葉の教育と文化-2
『子どもの地球探検隊』
高橋 典嗣・山崎 良雄/著

房総の自然-1
『房総半島の地学散歩―海から山へ(第一巻)』
宮内 崇裕・理学研究科地球科学コース/編著

千葉の健康-1
『地域医療安全に貢献するAiセンターの設立』
山本 正二/著

千葉の健康-3
『患者中心の医療を実現する―千葉大学文鼻IPEからの発信―』
酒井 郁子・田邊 政裕・石井 伊都子/著

<千葉大学創立60周年記念公開市民講座 参加申込書>

FAX.043-290-3606

(学生部教務課総務担当グループ)

フリガナ	
氏名	
住所	(〒 -)
電話番号	
メールアドレス	